

pen

with New Attitude

5/1
2017 No. 227
定価 680
円

G S I X

S I H H で見つけた、
渾身の腕時計17本。

アートな、
銀座。



©Ginza Maison Hermès, courtesy of Hermès Japan



2001年のオープニングは、銀座メゾンエルメスの外壁にあるモニュメント「宇宙に舞く」の設置音による企画展が行われた。

©Ginza Maison Hermès, courtesy of Hermès Japan



1階では現在、イギリスのプロダクト・デザイナー、マックス・マラムによるウィンドウディスプレイを展開している。

現在開催中の展覧会

[[水の三部作 2]
アブラハム・クルスヴィエイガス展]

●~1/2

2月まで開催されていた「隠れた関係」展のアンヌ・ロール・サクリストによる展示風景。日本の枯山水の庭園からインスピレーションを得た作品。

銀座メゾンエルメス フォーラム

Ginza Maison Hermès Le Forum

●東京都中央区銀座 5-4-1 銀座メゾンエルメス8F ☎03-3569-3300
 券11時~20時(月~土) 11時~19時(日) 不定休 ●展示替え期間は閉店 www.hermes.com

海外メゾンによるアート専門のスペースに先鞭をつけたのが「銀座メゾンエルメス フォーラム」だ。2001年、イタリアの建築家レンゾ・ピアノによる銀座メゾンエルメスの完成とともに、その8階にオープンした。フォーラムの最大の特徴は、なんといっても壁面のガラスブロックだ。通常のホワイトキューブとは違う大胆な空間が、アーティストを刺激してきた。ガラスブロックから入る外光を意識してインスタレーションを行った作家もいれば、会場構成に協力し

た建築家がユニークな空間を生み出した事例もある。

このフォーラムとは違う形でアートを表現するのが1階のウィンドウだ。さまざまなアーティストやデザイナーが参加するディスプレイでは、アートとともにシーズンごとの商品を楽しめる。街に開かれた劇場でありたいとの思いが形になったものだ。

さらに10階のル・スタジオでもエルメスの年間テーマをベースに選ばれた映画を無料上映する。こうした背景にあるのは、第5代目社長、ジャン＝ルイ・

デュマの「芸術は空気のような存在であるべき」という言葉だ。パリの街を歩いていてふらっとギャラリーや美術館に入る、そんな風に日常の中で自然とアートに触れてほしいという考えだ。メゾン＝家である「銀座メゾンエルメス」において、フォーラムやル・スタジオは「逆さまの木」という。上階にあるフォーラムやル・スタジオが「水」になり吸収した養分が下の階にあるブティックで花開く。ガラスブロックは、美の化学反応を起こす装置でもあるのだ。